



シリーズ

選ばれる日本に向けた望ましい外国人材受入れ制度を考える

第2回「送出し国ごとの労働者の脆弱性の違い」

6月30日（木）15:00-17:00 オンライン開催

今後、より多くの外国人材が来日すると予想され、また本年は外国人材の受入れ制度の見直しが行われるなど、制度の在り方について注目が高まっています。

第1回では、基調講演で「移住労働者の脆弱性」について理解を深めた後に、ステークホルダーが取り組むべきことについてパネル討議を行いました。移住労働者に共通する「脆弱性」に着目すると、取るべき施策や姿勢を変える必要があるということに気づかされました。

第2回は、労働者の脆弱性は、送出し国の具体的な制度や特徴により異なることを理解した上で、ビジネスと人権の観点から取り組むべきことを考えます。ご参加をお待ちしております。

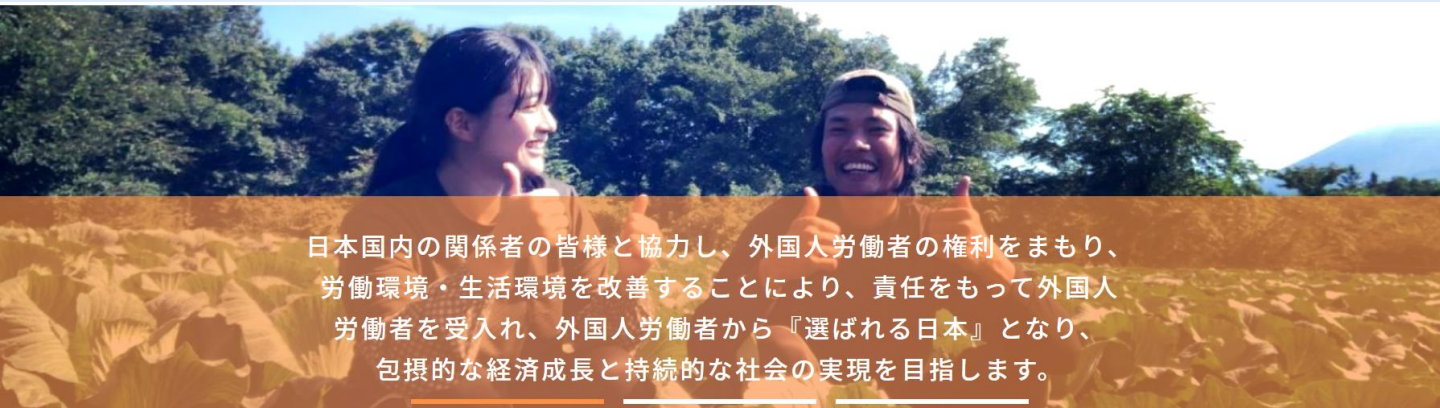
時間	プログラム	登壇者
1500	開会の挨拶 JP-MIRAIの活動紹介、本研究会の狙い、第1回の振り返り	JP-MIRAI事務局・JICA上級審議役 穴戸健一
1510	【基調講演】 「送出し国により脆弱性の違いがあるのか？ 中国、ベトナム、フィリピン、インドネシアの例より」	西村あさひ法律事務所 パートナー ヤンゴン事務所代表 湯川雄介様
1550	【パネルディスカッション】 「送出し国による脆弱性の違いを踏まえ、 ビジネスと人権の観点から行うべきことを探る」 <各発表の後、議論> 1. 実習生はなぜ失踪するのか、出身国別の特徴 2. 手数料ゼロを目指す企業の取組事例 3. ビジネスと人権の観点を活かす企業の視点	<モデレータ> グローバルHRストラテジー杉田昌平様 <パネリスト> 0. 西村あさひ法律事務所 パートナー ヤンゴン事務所代表 湯川雄介様 1. 京都大学大学院文学研究科 准教授 安里和晃様 2. 帝人フロンティア環境安全・品質保証部 部長 岡本真人様 3. グローバルコンパクト・ネットワークジャ パンSDGs タスクフォース 渡辺美紀
1655	まとめ、閉会の挨拶	JP-MIRAI事務局 穴戸健一

■参加申込：こちらからご登録をお願いします。

https://zoom.us/webinar/register/WN_O6o6nOTzQFGgQNz5eRKKkQQ

※登録されたメールアドレス宛に視聴URLが届きます。

届かない場合はメールアドレスに誤りがあるか迷惑メールに振り分けられている可能性がありますので、ご確認の上、再度ご登録ください。 ※問合せ：JP-MIRAI事務局 ask@jp-mirai.org



日本国内の関係者の皆様と協力し、外国人労働者の権利をまもり、労働環境・生活環境を改善することにより、責任をもって外国人労働者を受入れ、外国人労働者から『選ばれる日本』となり、包摂的な経済成長と持続的な社会の実現を目指します。